

令和3年度第2回東松島市総合教育会議議事録

日 時 令和4年3月24日（木）午後4時から午後5時

場 所 東松島市役所 3階 301会議室

出席者 東松島市長 渥美 巖
東松島市教育委員会 教育長 志小田 美弘
東松島市教育委員会 教育委員 木村 和彦
東松島市教育委員会 教育委員 福田 ゆかり
東松島市教育委員会 教育委員 鹿野 あい子
東松島市教育委員会 教育委員 松岡 勝久

傍聴者 2人

次 第

1 開会

2 あいさつ 東松島市長 渥美 巖

3 議題

(1) 報告事項

- ①令和4年度教育関係事業について
- ②小中学校の2学期制導入について
- ③新型コロナウイルス感染症にかかる対応について

(2) 協議事項

- ①東松島市「子ども宣言2021」を受けた取組みについて
(小中学校が連携したデジタルメディアコントロール（東松島ルール）について)
- ②東松島市子どもの笑顔と生きる力を育む基本条例について

(3) その他

4 閉会あいさつ 東松島市教育委員会教育長 志小田 美弘

5 閉会

事務局 ただ今から、令和3年度第2回東松島市総合教育会議を開会いたします。開会にあたり、渥美市長からご挨拶を申し上げます。

渥美市長 皆様、こんにちは。令和3年度第2回東松島市総合教育会議ということで、これは年2回、市長と教育委員の皆様との教育行政に関する意見交換の場ということで、非常に大事な会議になっております。そのような中で、年度末のお忙しい中、皆様にお集まりいただきまして、会議を開催できることを嬉しく思っております。ありがとうございます。

先日、真夜中に地震がありまして、本市でも午前0時20分に第1回本部員会議を開催しまして、午前1時、午前3時と午後5時までの間、第6回まで本部員会議を開き、災害対策を行いました。建物関係に結構被害が出ており、特にコミュニティセンターは改修工事が完成し引受した直後で亀裂が入り、図書館も亀裂が入り、図書もほとんど倒れてしまい、大変な状況になっておりますし、ゆふとも被害があり今も休んでいる状況です。また、宮戸地区では、漁港の護岸にひびが入ったりしている状況です。災害ごみについては、直ちにヤマニシ造船の東側県有地、11年前に災害ごみ置き場とした場所に、地震の翌日に港湾事務所に行って仮受けして、東松島市建設業協会の協力を得ながら、順次引き受けを行っているところです。思ったほどは集まって来ておりませんが、電化製品が多いように見受けられます。当初は4月いっぱい必要かなと思っていましたが、ごみの量を見ますと4月早々には閉められるのではないかと思います。

学校行事はコロナ禍の中で、様々な制約の中で進めたわけですが、何とか子ども達を送り出すことができたかなと思っております。中央幼稚園は今年14人の卒園児がおり、地震の影響で卒園式と閉園式を同時に行うこととなりましたが、予定通り執り行うことができました。来週からは新年度が始まり、本日の報告事項に新年度のハード事業、ソフト事業の報告がありますが、私の政策として、教育の予算だけは削らずにやるということが方針であります。子ども達への投資は、将来への投資でありますので、積極的に進めていきたいと思っておりますし、教育長にお願いしていることとして、教員の指導力向上にも力を入れていただき、子ども達の様々な夢が実現できるような教育をお願いしたいと思っております。令和4年4月からは2学期制がスタートしますが、この制度については県内でもこの制度になってきているようで、教育長との話しの中では、プラス面としては授業時間の確保が図られるということなので、子ども達の環境が良くなればよいなと思っております。また前回の会議では、スポーツ健康都市宣言をした東松島市として、中学生に運動着を補助するというので、当初は冬用も考えましたが、まずは夏用を補助します。また、給食費の集金について、従来は学校ごとに行っていたとおり、教員の皆様には大変なご負担をおかけしておりましたが、新年度からは行政が中心となって行うことで担当職員を配置する予定です。ただ心配なことは、今までは学校が行っていたことで徴収率がかなり良かったのですが、今後は市がやるということで口座引落となると滞納が増えるのではないかと心配しております。滞納対策については知恵を出し合う必要があるのではないかと考えております。本市では総合計画を策定しており、この中で掲げている「住み続けられ持続発展する東松島市-地方創生のトップランナーをめざす-」が将来像であり、教育に関する部分では「次代を担う人材を育む学びと文

化・スポーツのまち」を目標にしており、この目標に向かって、委員の皆様と話し合いながら、前に進めていきたいと思っておりますので、今日はよろしく願いいたします。

事務局 それでは議題に入ります。ここからは、東松島市総合教育会議運営要綱の規定に基づき、渥美市長を議長として進行します。渥美市長よろしく願いいたします。

渥美市長 それでは、要綱の定めるところによりまして、議長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。早速議題に入ります。お手元に配布の次第に沿って進めます。はじめに、議題（１）報告事項、①令和４年度教育関係事業について、②小中学校の２学期制導入について、③新型コロナウイルス感染症にかかる対応について、一括して事務局から報告をお願いします。

事務局 教育総務課、健康推進課から資料１ページから１０ページの説明。

渥美市長 ただ今の説明に対して、何かご質問ございませんか。

木村委員 コロナの関係でオンライン授業をされたということですが、オンラインでの問題点あれば教えていただきたい。

事務局（教育総務課） オンラインについては、多くの家庭から協力と理解をいただいております。ただ中には他の子ども達にコロナのことが知られてしまうことが心配だということで、遠慮したいというご家庭もありましたが、そこはかなり少数で、今は多くの方に理解いただいております。オンラインでできない場合は、紙媒体や家庭訪問を通じて子ども達への学びの支援を行ってまいりました。

松岡委員 現在のコロナの状況を教えていただきたい。

事務局（健康推進課） 本市の新型コロナウイルスの感染者については、昨日までで740人となっています。そのうち10歳未満の方は114人、10代は137人、20代121人となっており、トータルでの感染者率は10歳未満15.4%ですが、1月1日以降だけで見ますと、19.9%、10代の1月1日以降での率は18.9%、20代は15.3%、30代16%、40代13.3%で、50代以降は1桁台の数値となっています。年明けから見ますと若い世代、特に10歳未満が増えています。直近の3月分だけで見ますと、10歳未満は23.6%、10代が14.7%となっています。

松岡委員 ちなみに、若年層の症状はどういったものになりますか。

事務局（健康推進課） 個別の症状については、保健所から連絡が来ておりませんので、重度なのか軽度なのかはわからない状況ですが、オミクロン株だと軽度の方や無症状の方がいるということで、おそらく若い世代の方で重症化の方はいないのではないかと思います。

っております。

事務局（教育総務課） 学校からの報告では、子ども達の症状は、無症状や喉の痛み、一部頭痛や、発熱も高熱ではないとの報告です。

渥美市長 この件については、本市では65歳以上は94～95%がワクチン接種済ですので、感染者数は1桁台です。ワクチン接種していない子ども達は、防御をしていない状態ですので、感染リスクは高くなるようです。一番の課題は、親御さんの理解が得られなければ接種が行き届かないということです。正しい情報がきちんと周知されることが大切で、国が率先して責任を持って大丈夫だと言っていることなので、できればワクチン接種していただきたいと思いますが、最終的には親御さんの判断ですので、判断できる正しい情報をきちんと周知していきたいと思っています。

松岡委員 若年層、小さい子どもがワクチン接種した際の副反応について教えていただきたい。

事務局（健康推進課） 若い世代については、高齢者に比べて接種後の副反応が出る確率が高くなっている状況です。重度の症状ではなく、発熱や倦怠感といった症状が出るようです。そのような症状が出た場合は、医療機関やコールセンター等へ相談するよう周知を図っている状況です。

福田委員 11歳以下の接種率がわかれば教えていただきたい。

事務局（健康推進課） 3月22日現在、5歳から11歳の方については24人の方が1回目接種しています。接種率は1%程度となっています。3月は7日から接種開始していますので、ワクチンも限られた数しか来ていないため、なかなか接種が進んでいない状況です。参考までに、国で発表している12歳から19歳の2回目接種済は82.3%となっています。50代以上になりますと90%を超える接種率になりますが、40代以下については、80%台となっています。

渥美市長 ほかの委員さんから質問はありませんか。ないようであれば、（2）協議事項①東松島市「子ども宣言2021」を受けた取組みについて（小中学校が連携したデジタルメディアコントロール（東松島ルール）について）、事務局から説明をお願いします。

事務局（教育総務課） 資料13ページから14ページの説明。

渥美市長 子どもたちが主体となって制定した東松島市子ども宣言2021については、委員の皆様にも毎回参加いただいている子ども未来サミットで、子どもたちが学区単位で小中学生が一緒になって議論し、その姿は素晴らしいと思います。ただ、学校代表の

子どもたちだけ意識が高いのではなく、学校全体に浸透していくことが一番の課題だと思います。ただ今の説明について、委員の皆様からご質問はございませんか。

鹿野委員 子どもたちがメディアコントロールチャレンジに向けて、学校区で話し合っ、ゴールを決めて具体的な活動にもっていこうとする姿勢はとても有意義なことだと思います。資料を拝見しますと、主体的な取組でありますので、自分から考えて行動することが何より大切だと思うので、この精神を忘れずにいてほしいと思います。しかし、子どもたちだけでは実施するにはいくらか障害があると思うので、意思が道半ばで折れてしまうことがないように、友だちや家庭、地域の力を借りて、皆で実行していく方向が良いのではないかと思います。瀧先生の話は多くの方々に聞いていただきたいと思うので、対象者を絞って一人でも多くの方に聞いていただきたいと思っています。また、メディアコントロールで、ノーメディアデーについて書いてありましたが、小学校区では学習や好きなこと、家族との団らんに時間を使おう、中学校区では読書が挙げられておりましたが、私なりに考えてみたところ、小学生から出ていたメディア以外の自分が好きなことに、まずは充ててみれば、興味津々のメディアの次に興味のあるものをやると、あまりギャップがないのかなと思いました。

渥美市長 これについては、教育長から考え方等お示しいただければと思います。

志小田教育長 この資料にあるとおり、デジタルメディアとしてターゲットにしているのは、スマホとゲームです。これは1年2年で解決する取り組みではなく、本当に息の長い取り組みの中で現状を踏まえながら、改良を重ねながら、しっかりと取り組んでいかなければならないことだと思っています。市全体として、子ども宣言の主旨を活かして、目指して行くゴールを設定しようという取り組みであり、先ほど鹿野委員さんからお話しがありましたが、子どもの主体性をとても大事にし、それが取り組むモチベーションになりますので、そこを大事にしようということで進んでいます。また、青少年健全育成市民会議や市PTA連合会など、オール東松島市で取り組んでいくことだと思います。県の社会教育では、親の道しるべという親の研修事業がありますので、保育所、幼稚園の子ども親御さんにも広がることも必要だと思います。

渥美市長 これについては、教育総務課や総務課含めて、できるだけ多くの方々に、一人でも多くの人に瀧先生の話しを聞いてもらうことが一番大事だと思います。親御さん自身がいづぶんスマホに夢中になっている方もおりますので、全体に様々なかたちで周知していくことが大事だと思っていますので、東松島市を挙げて、教育委員会が中心となって、進めていきたいと思っています。

その他ございませんか。なければ協議事項②東松島市子どもの笑顔と生きる力を育む基本条例について、事務局説明をお願いします。

事務局（子育て支援課） 資料15ページから27ページの説明。

渥美市長 ただいま事務局から説明がありましたが、これについては議会から子どもに関する基本条例を制定してほしいと議論があり、子ども中心の条例にしようということで、教育委員会と保健福祉部で調整して作成し、今定例会に上程し、議決をいただいたものです。委員の皆様からご質問はございませんか。

基本条例ですので、大枠とそれぞれの役割を決めているものとなっています。

志小田教育長 今回、子育てからとても良い原案を出していただき、とても良い基本条例ができたと感謝しております。これから、関係者がしっかりと連携して子どもを育ていくために、本当に良いものができたと思っています。

渥美市長 その他にありませんか。なければ協議事項を終わります。その他、協議事項以外に何かありますか。

木村委員 教育委員会の会議の中で、学校や家で子どもの骨折が多いという報告が多く、体力不足なのか、スポーツ健康都市宣言をしている本市として、やはり体力向上を目指して欲しいと思いますが、市長いかがでしょうか。

渥美市長 私自身はスポーツ大好き人間ですが、私の感覚としては食べ物と日頃の運動不足が大きく関わっているのではないかと思います。

事務局（教育総務課） 市長が目指すスポーツ健康都市宣言に、学校も一体的に取り組んでいきたいと考えています。

渥美市長 その他、ございますか。ないようであれば、議長の職を解かせていただきます。ご協力誠にありがとうございました。

事務局 それでは、閉会のあいさつを志小田教育長にお願いいたします。

志小田教育長 本日はありがとうございました。冒頭、市長から教育の予算は大事にしていると心強い御言葉をいただき、市長からは本当に教育に関することは大切に考えていただいております。今日は2点の協議事項がありましたが、令和の今の現状を踏まえたものが一つの視点、これからどういう方向に進んでいったらいいのかという未来を見つめた視点で、良い協議ができたと思います。特に、子ども条例については、オール東松島市で教育を考えていくということが確認できたことは、大変良かったと思います。今日は、終了式でしたが、コロナ禍でいろいろありますが、市長部局と連携しながら、本市の教育行政を良いものにしながら、しっかり進めていきたいと思っております。ありがとうございました。

事務局 以上をもちまして、令和3年度第2回東松島市総合教育会議を閉会いたします。